

科学技術史事典 —トピックス 原始時代-2013

日外アソシエーツ編集部 編

A5・690頁 定価(本体13,800円+税) ISBN978-4-8169-2461-3 2014年2月刊行



9784816924613

科学技術をめぐる4,700件を収録

- 原始時代～2013年まで、世界の科学技術史に関するトピックス4,698件を年月日順に掲載した記録事典です。

基礎科学のトピックだけでなく 技術的・産業的発見や出来事もわかる

- 数学・物理学・化学・医学・生物学など科学史および、火の使用、農耕の開始、文字の発明、工場制機械工業の導入、原子力開発、コンピュータの普及、インターネットの商用利用など技術史上の重大な発見や出来事を記載しているので、世界の科学技術史の流れを俯瞰できます。

- 「国名索引」「事項名索引」付き。

【収録トピック例】

石器、タレス、『周髀算経』、天動説、錬金術、パリ大学、金閣、新大陸発見、振り子時計、反射望遠鏡、デカルト、『プリンキピア』、政治算術、蒸気機関、リンネ分類、酸素の命名、英国王立研究所創設、電流の磁気作用の発見、細胞説、『種の起源』、マクスウェルの方程式、フロイト、ショウジョウバエ、原子核の発見、ゲーデルの不完全性定理、カラーテレビ、REM睡眠、ユニメット、遺伝子工学、オゾンホール、高温超伝導体、ヒッグス粒子 …etc.

内容
見本

1781年
(安永10年, 天明1年)

3.31 【天文】ハッセル、天王星を発見 ドイツ生まれ、イギリスの天文学者、ウィリアム・ハッセルは古代から知られている水星、金星、火星、木星、土星、そして地球の6つの惑星以外では初めて惑星を発見。当初、ハッセルはこの星を彗星だと考えたが、尾を引かず、軌道も惑星の特徴を示さなかったため、翌82年これが惑星であるという結論に達した。太陽系の第7惑星ははじめ英王ジョージ3世の名をとってジョージの星とされたが、ボーデの提唱をいれて、最終的には天王星と名づけられた。天王星の軌道は土星の約2倍であり、太陽系を一挙に2倍に拡大した。ハッセルはその功績から、ロイヤル・ソサエティ会員及びジョージ3世付の天文学者に任じられた。

この年 【天文】ハッセル、火星の自転軸を決定 ハッセルは火星の表面の様態を観察して、模様は赤道に平行して回転し、自転軸が赤道に垂直であり、軌道面の垂直軸に対し約24度傾いていることを発見。自転軸の傾きは地球のそれとほぼ等しく、地球と火星の類似性の一つ。

2012年
(平成24年)

この一冊で
科学技術史の概要を
理解できる！

- 2.8 【地球】南極氷底湖に到達 ロシアの調査チームは、ドリルを使って、深さ3769mにある南極氷底湖のヴォストーク湖に、世界で初めて到達。ヴォストーク湖は1500～2500万年間外界から隔離された状態にあり、未知の生命体の発見が期待される。
- 4.20 【生物】XNAの精製、成功 イギリスのビートル・ピンヘイロらは、DNAと同様に遺伝情報を蓄積、複製、進化するキセノ核酸(XNA)を作製した、とアメリカの科学雑誌『サイエンス』に発表。研究チームは、DNAとXNAはポリメラーゼを使うことで変換が可能であることも示した。
- 7.4 【物理】ヒッグス粒子、発見される 欧州合同原子核研究所(CERN)は、物質に質量を与えると考えられるヒッグス粒子とみられる新粒子を発見したと発表。現代物理学の標準理論で予測されていた17種類の素粒子で、唯一発見されていなかった。

2016.11

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	科学技術史事典—トピックス 原始時代-2013	
		定価(本体13,800円+税) ISBN978-4-8169-2461-3	冊
	■お名前		